

Wakayama Jonan Rotary Club

Rotary



2024-2025 Club Weekly

No.1639 2024年8月8日(木)

事務所 ☎640-8215 和歌山市橋丁23(N-4ビル2F)
TEL(073)432-1615 FAX(073)423-4002
E-mail : wa.jonan@nifty.com

例会会場 ☎640-8262 和歌山市湊通り丁北2丁目1-2 アパローム紀の国
TEL(073)436-1200

例会日時 毎週木曜日 18時30分～19時30分

会長	堂西誠治	クラブ奉仕	山東秀樹
幹事	岡本昌也	職業奉仕	山本好信
直前会長	東徹	社会奉仕	松本健
会長エレクト	浦口英尚	国際奉仕	前田浩二
副会長	井手良明	S. A. A.	部家安有美
		会計	溝上裕章
		クラブ会報委員長/東	直樹

国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック
第2640地区ガバナー
野村壮吾

2024～2025年度
国際ロータリーのテーマ



◆本日のロータリーソング それでこそロータリー

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

本日のプログラム

★会員卓話

「刑事手続のこと」

岡本 浩 会員

次週のプログラム

★8月15日(木) 祝日週休会 [8月11日(日) 山の日]

★8月22日(木)

会員卓話 「那智の曼陀羅を読む」

山名充行 会員

先週の例会記録

令和6年8月1日(木)

- 出席報告(会員数39名) 出席規定適用免除会員 9名
8月1日 出席21名(内◎ 6名)
ホームクラブ出席率 58.33%
- 個人寄付 [ロータリー財団] 山本好信会員
[米山奨学会] 根岸憲一郎、東徹会員

会長報告

会長 堂西誠治



皆様こんばんは。7月26日にパリオリンピックが開会されメダルラッシュが期待される中、深夜遅くまでテレビ中継にて熱い応援を送り、寝不足の日が続いてはおりませんか？

四年に一度の祭典なのでしょうがないですが、熱中症等の体調管理には引き続きしっかりとってください。

●出席率向上の為、下記会場にてメーキャップお願い致します。

RC名	和歌山北	和歌山アセア	和歌山	和歌山西	和歌山東南	和歌山東	和歌山南	和歌山中
例会場	ダイワロイネットホテル和歌山	アパローム紀の国	ダイワロイネットホテル和歌山	サンプレストビル2F	アパローム紀の国	ダイワロイネットホテル和歌山	ダイワロイネットホテル和歌山	ダイワロイネットホテル和歌山
曜日	月	月	火	水	水	木	金	金
時間	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30*	12:30	12:30	19:00

*第1・2回は18:30～19:30 第3・4・5回は12:30～13:30

幹事報告

幹事 岡本昌也



- ①会員名簿(住所録)の原稿を回覧しますので、訂正・変更等ご確認をお願いします。
- ②ガバナー月信7月号と昨年度の地区大会記念誌が届いていますので、お持ち帰りください。*ガバナー月信…8月号以降は地区のホームページにアップロードされます
- ③[ロータリーレートの変更お知らせ]
8月～154円(参考:7月レート 161円)
- ④[例会臨時変更のお知らせ]
和歌山東RC…8月15日(木)は休会
和歌山南RC…8月16日(金)は、18:30～和歌山マリーナシティホテル プールサイドで「納涼家族例会」に場所変更 *尚、お盆期間の為サイン受付は致しません …8月23日(金)は休会



(左)8月度誕生日の会員さん

委員会報告



■出席委員会（河野正文委員長）
本日出席は21名です。出席率向上にご協力下さい。



■米山奨学会（根岸憲一郎委員長）
2023-24年度の寄付金は約14億4,600万円となり本年度も引き続き宜しくお願いしますとの報告が参っています。クラブの皆様も一層のご協力お願い致します。

ニコニコ箱

卓話講師様…卓話の御礼は規定によりお受け取り頂けないので、直接「ニコニコ箱」に繰り入れさせていただきます。
堂西誠治会員…恩賀様、的場様 本日宜しくお願いします。 東 直樹会員…卓話よろしくお祈りします
根岸憲一郎会員…妻の誕生日です。 川崎行彦会員…ワイフのお祝い頂いて 岡本昌也会員…ギックリ腰やっとなんて来ました。 部家安有美会員…恩賀様、的場様 本日はよろしくお祈り致します。

合計¥31,000 累計¥175,000

外部卓話

「和歌山県の海洋プラスチックごみ対策について」

和歌山県 環境生活部環境政策局 循環型社会推進課

地域環境推進班 主査 恩賀承子様

地域環境推進班 主事 的場真璃様



■海洋ごみの影響

海洋ごみとは、ポイ捨てされたプラスチックごみなどが、海へ流れ着いたごみのことで、「漂着ごみ」、「漂流ごみ」、「海底ごみ」の3つがあります。海洋ごみにより、観光地の景観の悪化や、海藻に混入するなど漁業への影響、海の生き物が誤って飲み込んだり網が体に絡まったりして死んでしまうなどの影響があります。

■海洋ごみの現状

海ごみの7割から8割は陸地が発生源といわれています。路上にポイ捨てされたごみなどが雨や風で川や海に流れ込み、風や海水の流れの影響を受け海面や海中を漂い、海底や海岸へ流れ着いていると考えられます。

中を漂い、海底や海岸へ流れ着いていると考えられます。

海岸に漂着するごみの種類や数などを把握するための和歌山県の調査（令和5年度）では、重量では流木等の自然物が79%を占め、次いで木材等、プラスチックとなりますが、個数で見るとプラスチックが全体の64%を占めています。

■海洋プラスチックごみ問題

近年世界的に問題となっている「海洋プラスチックごみ問題」について、2050年までに、海中のプラスチック量が魚の量を超えるという予測があります。特に、直径5ミリメートル以下にまで細くなったマイクロプラスチックは、一度海に流れ込んでしまうと回収が非常に困難であり、海の生き物の体内に取り込まれると生態系に悪影響を及ぼすのではないかと懸念されています。

■海洋ごみの対策

こうした海洋ごみ問題の解決のために、県ではさまざまな取組を行っています。

監視・取締としては、「和歌山県ごみの散乱防止に関する条例」を施行し、ごみの散乱を「しない」「させない」「許さない」を合言葉に、環境監視員によるパトロールを実施しています。

教育・啓発として、「プラスチックごみ削減協力事業者制度」で事業者の具体的な取組を登録し、県HP等で取組を紹介したり、マイボトルの利用を促すための給水スポットを設置したりしています。給水スポットは皆さんもご利用いただけますので、マイボトルを持参のうえ活用いただければと思います。

■日々の暮らしの中で取り組めること

海洋ごみ問題を解決するために、私たち個人が取り組めることもあります。マイボトルやマイバックの利用、コンビニなどでプラスチック製のスプーンやフォークを受け取らないことなど、日々の生活の中でのごみ削減の取り組みが、海洋ごみ問題の解決につながります。ちょっとしたことから心がけてみてください。



～講師の先生方を囲んで～
(左)堂西会長、(右)岡本幹事